今回台湾大会に参加させていただいたこと、神様に感謝します！

空港には、日本語の話せる方達でお迎えに来ていただきました。一人の方は東京から来たとのこと（よくよくきくと、私達日本人の通訳などのお世話のために来られたとのことでした。なんてことでしょう。。。）

集会場は空港から車で1時間弱のところにありました。そこは今回の大会の主催者であるマーガレットさんという方が持っておられるクリスチャン宿泊施設でした。この方が経営しておられるキリスト教系の病院のドクターや病院スタッフが中心となって参加しているようでした。「職場興主同行　黙想祷告観」という何となくわかるような大会の名前がついていました。会場入りした時は1日目のプログラムは終了した後でしたが、歓迎していただき、しばし皆様と交わりの時を持ちました。

日本人メンバーも全員そろい、2日目の始まりです。丸い円卓をぐるぐる回しながらお食事は、とまどい遠慮がちな日本人に、スタッフの方々が給仕してくださり、ありがたいばかりでした。そして大変美味しかったです。

集会中のワーシップのほとんどは中国語で歌われましたが、知っているメロディも多く、自由な流れの中、霊歌でも良く賛美できました。設備等も良く整えられている施設だなと思いましたが、マーガレットさんの証で、そもそもここの施設は、主がここを買うように示されたものだそうです。どうしてここなのかわからなかったそうですが、後でここの地域が道教の重要拠点の一つだったとわかり、そのために主がここにクリスチャン施設を作りなさいといわれたのだということでした。さすが、すでにIMMなマーガレットさんでした。

この日私達日本人はそれぞれPSG（Prayer Small Group）の証をさせていただきました。

トップバッターの私は、緊張のためどのように語れていたかわかりませんが、PSGをするようになって、神様との愛の関係を確認できるようになってきたことを証しさせていただきました。ともいてくださる主を静かに思い、私を愛されていることを実感し、私も主を愛していることを申し上げる、この関係に平安と力をいただいていることを話しました。他の方々のPSGの証も聞くことが出来、大いに共感できることも多く、PSGを続けている恵みを確認できました。台湾の方々は日本人クリスチャンの証は今まであまり聞いたことがなかったので良かったと喜んでくださいました。ホッ。

台湾はクリスチャン人口の割合が少なく見積もっても５～６％ともいわれており、日本より比率でいうとずっと高い国です。実際マーガレットさんの病院では祈祷会やバイブルスタディも行われており、患者さんに対する伝道や病院職員へのケア対応などにも、スタッフが置かれていると聞きました。この大会に参加しているクリスチャンドクターたちは、マーケットプレイスミニスターとして、日本の私達以上に、自覚を持ち、働きに携わっておられることでしょう。その中で、IMMとは何か？他のマーケットプレイスミニストリーと何が違うのか？ということが、今回この大会で述べられた大切なことであったと思います。

金山先生のメッセージはこれまでと少しもぶれることなく、IMMのコンセプトが繰り返し語られました。神の御声に聞き従い、神とともに手をつないで歩むこと。そして神のみこころを行っていくこと。神様との直接の個人的な関係、親密な関係をもつこと。非常にシンプルですが本当に深いです。私もさらに経験しもっともっと深みにいきたいと願わされました。そして神様にますます造り変えていただき、主のあらかじめ備えられた御計画のうちを歩みたいです。まことの主からの召命に応えたいと燃やされます！でもこのことは私をとても楽にしてくれます。自分自身の頑張りでなくて良いからです。どのように自分で進んでいくかと自分で考え決めていくのでないからです。内なる聖霊様にたずね、すべてを委ねて主にお任せし依り頼んでいく。実にわくわくする道なのですから！

この大会を通して、参加された台湾の方々もそのように思われたと私は信じます。そしてこれからも日本中に世界中に主を心底求める人々にIMMが伝わり、聖霊様の火が灯され、燃え上がっていくことを祈ります！